



# コール ピックアップ グループの使用 方法

コール ピックアップ グループを使用すると、該当するピックアップ グループ番号をダイヤルしたときに、自分のグループ内またはその他のグループ内の着信コールを受けることができます。

この章は、次の項で構成されています。

- [BAT の重要な考慮事項 \(P.49-2\)](#)
- [BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 \(P.49-3\)](#)
- [テキスト エディタを使用したコール ピックアップ グループ用の CSV データ ファイルの作成 \(P.49-4\)](#)
- [既存のコール ピックアップ グループ CSV ファイルの編集 \(P.49-5\)](#)
- [コール ピックアップ グループ CSV ファイルの設定値 \(P.49-6\)](#)
- [BAT を使用した Cisco Unified CallManager データベースの更新 \(P.49-7\)](#)
- [Cisco Unified CallManager データベースを更新する場合の BAT の設定 \(P.49-8\)](#)

## BAT の重要な考慮事項

BAT を使用してコールピックアップグループを設定する前に、次の情報を確認します。

- コールピックアップグループの設定を初めて追加する場合は、BAT.xlt を使用して CSV ファイルを作成するか、カスタムのテキストベース CSV ファイルを作成することができます。
- コールピックアップグループの設定を更新するには、既存の CSV ファイルを編集するか、テキストベースのカスタム CSV ファイルを作成します。
- 各ピックアップグループ名（およびそれに対応する設定値）を 1 行に指定します。たとえば、ピックアップグループの情報を入力する場合は、次の形式になります。
  - (Pickup Group Name, Pickup Group Number, Partition, Other Pickup Group Name-Member1...Other Pickup Group Name-Member10)
  - Marketing,7815,Part1,Marketing,Managers,Training
- 新規ピックアップグループを追加する場合は、ピックアップグループ名、ピックアップグループ番号など、必要なすべてのフィールドに入力する必要があります。手順で特定のエントリが必須として指定されている場合は、ファイルにその情報を指定する必要があります。
- ファイルから情報を削除して情報をブランクにしても、その情報は Cisco Unified CallManager データベースから削除されません。つまり、ブランクの値ではデータベース内の既存の値は上書きされません。データベース内の既存の値は、値を更新すると上書きされます。
- 該当する CSV ファイルを Cisco Unified CallManager クラスターの最初のノードにアップロードします。詳細については、[P.2-4 の「ファイルのアップロード」](#)を参照してください。
- CSV ファイルを作成または変更する際には、[P.49-7 の「BAT を使用した Cisco Unified CallManager データベースの更新」](#)で説明されているように、必ずその CSV ファイルを BAT に挿入する必要があります。

### その他の情報

詳細については、[P.49-8 の「関連項目」](#)を参照してください。

## BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成

BAT.xlt を使用してコールピックアップグループ用の CSV ファイルを作成するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1** BAT.xlt ファイルは Cisco Unified CallManager サーバにありますが、通常、Cisco Unified CallManager サーバには Microsoft Excel がインストールされていません。その場合は、Cisco Unified CallManager サーバからこのファイルをコピーして、Microsoft Excel がインストールされているローカルマシンに移動する必要があります。
- ステップ 2** [Bulk Administration] > [ファイルのアップロード/ダウンロード] の順に選択します。[ファイルの検索と一覧表示 (Find and List Files)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 3** [検索] をクリックして、BAT.xlt ファイルをダウンロードします。ファイルのアップロードまたはダウンロードの詳細については、第 2 章「ファイルのアップロードとダウンロード」を参照してください。
- ステップ 4** BAT.xlt を Microsoft Excel がインストールされているローカルマシンにコピーします。
- ステップ 5** Microsoft Excel で BAT.xlt を開きます。
- ステップ 6** [Call Pickup Group] タブをクリックします。
- ステップ 7** 表 49-1 に従って、各カラムにコールピックアップグループの設定値を入力します。
- ステップ 8** ステップ 7 を繰り返し、すべてのピックアップグループを入力します。
- ステップ 9** Excel スプレッドシート形式を CSV ファイルに変換するために、[Export to BAT Format] をクリックします。  
  
CSV ファイルが自動的にローカルマシンの C:\XlsDatafiles に保存されます。CSV ファイルの保存場所として別のロケーションを選択する場合は、[Browse] をクリックして希望のロケーションを選択します。
- ステップ 10** CSV ファイルを Cisco Unified CallManager クラスタの最初のノードにアップロードします。詳細については、P.2-4 の「ファイルのアップロード」を参照してください。
- ステップ 11** CSV ファイルを BAT に追加します。CSV ファイルを BAT に挿入する方法については、P.49-7 の「BAT を使用した Cisco Unified CallManager データベースの更新」を参照してください。

### その他の情報

詳細については、P.49-8 の「関連項目」を参照してください。

## テキスト エディタを使用したコール ピックアップ グループ用の CSV データ ファイルの作成

値がカンマで区切られた ASCII テキストを複数行使用して、カンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成することができます。カンマ区切り値 (CSV) ファイルでは、テキスト情報は表形式で与えられます。コール ピックアップ グループ用のテキストベース CSV ファイルの詳細については、[P.A-23 の「コール ピックアップ グループ用のテキストベース CSV ファイルの作成」](#)を参照してください。

### その他の情報

詳細については、[P.49-8 の「関連項目」](#)を参照してください。

## 既存のコールピックアップグループ CSV ファイルの編集

既存のコードを更新する場合は、Notepad で既存の CSV ファイルを手動で更新するか、または Notepad で新規のファイルを作成します。

次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** 以前にコールピックアップグループ情報を挿入した既存の CSV ファイルを編集するには、Cisco Unified CallManager サーバの最初のノードから、該当する CSV ファイルをダウンロードします。詳細については、P.2-3 の「ファイルのダウンロード」を参照してください。

**ステップ 2** Notepad で既存の CSV ファイルを開いて編集します。表 49-1 のテキストベースの表現を使用して、既存の設定の削除、新規コールピックアップグループの追加、または既存の設定の更新を行います。

たとえば、コールピックアップグループの CSV ファイルを更新するには、Marketing,,Marketing,Managers,Training と入力します。ここで、Marketing は必須のピックアップグループ名です。Marketing、Managers、および Training はピックアップグループ Marketing に関連するその他のピックアップグループ名です。



### 注意

既存のレコードのどの部分でも変更できますが、ピックアップグループ名を含める必要があります。ピックアップグループを更新すると、既存の他のピックアップグループとの関連付けが解除されます。[Other Pickup Group] フィールドは、空白にしないでください。ピックアップグループに関連付ける他のすべてのピックアップグループを続けて入力します。

**ステップ 3** CSV ファイルを Cisco Unified CallManager クラスタの最初のノードにアップロードします。詳細については、P.2-4 の「ファイルのアップロード」を参照してください。

**ステップ 4** CSV ファイルを BAT に追加します。CSV ファイルを BAT に挿入する方法については、P.49-7 の「BAT を使用した Cisco Unified CallManager データベースの更新」を参照してください。

### その他の情報

詳細については、P.49-8 の「関連項目」を参照してください。



## コールピックアップグループ CSV ファイルの設定値

次の各項と表 49-1 を併せて参照してください。

- BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 (P.49-3)
- テキスト エディタを使用したコールピックアップグループ用の CSV データ ファイルの作成 (P.49-4)
- 既存のコールピックアップグループ CSV ファイルの編集 (P.49-5)
- コールピックアップグループの削除 (P.50-1)

関連する手順については、P.49-8 の「関連項目」を参照してください。

表 49-1 コールピックアップグループの設定値

設定 / カラム	説明
<b>For CPG CSV file (CPG 用 CSV ファイル)</b>	
Pickup Group Name	この必須フィールドには、50 文字以内のコールピックアップグループ名を入力します。
Pickup Group Number	この必須フィールドには、ユーザが着信コールを受ける際に入力する、24 桁以内のピックアップグループ番号を入力します。
Partition	<p>電話番号 (ピックアップグループ番号) が属するルートパーティションを選択します。</p> <p> (注) 電話番号 (ピックアップグループ番号) は複数のパーティションに現れる可能性があります。</p> <p> (注) [Pickup Group Number] と [Partition] の組み合わせは固有である必要があります。</p> <p>このフィールドはオプションです。</p>
Other Pickup Group Name(x)	新規ピックアップグループに関連付けるその他のピックアップグループの名前を入力します。このオプションフィールドでは、各ピックアップグループをその他の最大 10 のピックアップグループと関連付けることができます。

## BAT を使用した Cisco Unified CallManager データベースの更新

Cisco Unified CallManager データベースを更新するには、BAT にコールピックアップグループ用の CSV ファイルを挿入する必要があります。データベースを更新するには、次の手順を実行します。

### 始める前に

Cisco Unified CallManager を更新する前に、コールピックアップグループの CSV ファイルを作成または編集し、Cisco Unified CallManager サーバの最初のノードに保存する必要があります。詳細については、P.2-4 の「ファイルのアップロード」を参照してください。

詳細については、次の項を参照してください。

- [BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 \(P.49-3\)](#)
- [テキスト エディタを使用したコールピックアップグループ用の CSV データ ファイルの作成 \(P.49-4\)](#)
- [既存のコールピックアップグループ CSV ファイルの編集 \(P.49-5\)](#)
- [コールピックアップグループ CSV ファイルの設定値 \(P.49-6\)](#)

### 手順

**ステップ 1** BAT で、[Bulk Administration] > [コールピックアップグループ] > [コールピックアップグループの挿入] の順に選択します。

[ピックアップグループの挿入 (Insert Pickup Groups Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、更新されたピックアップグループが含まれる CSV ファイルを選択します。



**ヒント** 挿入するファイルの内容を表示するには、[View File] をクリックします。

**ステップ 3** 既存のピックアップグループのリストを更新した場合は、[表 49-2](#) で説明されているように、[既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 4** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 5** [今すぐ実行] オプション ボタンをクリックしてピックアップグループを即座に挿入するか、[後で実行] をクリックして後で挿入します。

**ステップ 6** [送信] をクリックして、アシスタントを削除するジョブを作成します。

ジョブの詳細については、[第 51 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログファイルの詳細については、[P.54-3 の「BAT ログ ファイル」](#)を参照してください。



### その他の情報

詳細については、[P.49-8 の「関連項目」](#)を参照してください。

## Cisco Unified CallManager データベースを更新する場合の BAT の設定

P.49-7 の「BAT を使用した Cisco Unified CallManager データベースの更新」と表 49-2 を併せて参照してください。関連する手順については、P.49-8 の「関連項目」を参照してください。

表 49-2 CSV ファイルを挿入する場合の BAT の設定

BAT の設定	説明
[ファイル名 (File Name)]	ドロップダウン リスト ボックスから、挿入するコールピックアップファイルを選択します。
[既存の設定の上書き (Override the existing configuration)]	<p>このチェックボックスは、既存の設定のピックアップグループを更新する場合に適用されます。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、挿入するファイルに含まれている情報が [Other Pickup Group Name-Member] に上書きされます。このチェックボックスをオンにしないと、該当するその他のピックアップグループ名がすでに存在することを示すエラーが、ログファイルに書き込まれ更新されません。</p> <p> (注) ピックアップグループごとに、[Pickup Group Number] と [Partition] の組み合わせが固有であることを確認します。</p> <p> (注) ピックアップグループを更新する際、[Pickup Group Number] と [Partition] の値は無視され、既存の [Other Pickup Groups] は関連付けを解除されます。</p>

### その他の情報

詳細については、P.49-8 の「関連項目」を参照してください。

## 関連項目

- BAT の重要な考慮事項 (P.49-2)
- BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 (P.49-3)
- テキスト エディタを使用したコールピックアップグループ用の CSV データファイルの作成 (P.49-4)
- 既存のコールピックアップグループ CSV ファイルの編集 (P.49-5)
- コールピックアップグループの削除 (P.50-1)
- コールピックアップグループ CSV ファイルの設定値 (P.49-6)
- BAT を使用した Cisco Unified CallManager データベースの更新 (P.49-7)
- Cisco Unified CallManager データベースを更新する場合の BAT の設定 (P.49-8)
- コールピックアップグループ用のテキストベース CSV ファイルの作成 (P.A-23)